

様式第2号の1 - 【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1 - を用いること。

学校名	熊本県立農業大学校
設置者名	熊本県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
農学部	農産園芸学科 農特産コース	夜・通信	1,334 単位数	80×2 = 160時間	
	農産園芸学科 花きコース	夜・通信	658 単位数	80×2 = 160時間	
	農産園芸学科 果樹コース	夜・通信	1,335 単位数	80×2 = 160時間	
	野菜学科	夜・通信	833 単位数	80×2 = 160時間	
	畜産学科 酪農コース	夜・通信	740 単位数	80×2 = 160時間	
	畜産学科 肉用牛コース	夜・通信	1,357 単位数	80×2 = 160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

熊本県ホームページ中の熊本県立農業大学校のページに掲載
(<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/84/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	なし
(困難である理由)	

様式第2号の2 - 【(2)- 外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

様式第2号の2 - に掲げる法人以外の設置者（地方公共団体、独立行政法人（独立行政法人国立高等専門学校機構を除く。）、社団法人、財団法人、医療法人、社会福祉法人、株式会社、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	熊本県立農業大学校
設置者名	熊本県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校関係者評価委員会
役割	<p>大学校は、教育目標を実現するための重点目標及び重点目標の達成に必要な評価項目を設定した上で、評価項目に係る具体的方策及び評価指標の達成状況及び次年度の課題等について自己評価を実施する。</p> <p>学校関係者評価委員会は、大学校の自己評価について審議する。</p> <p>大学校は審議結果を基に、当該年度の取組成果と残された課題を分析し、次年度の重点目標や評価項目に反映させるとともに、学校運営の更なる改善に生かす。</p>

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
熊本県立農業大学校後援会会長	2021.7月～2022.3.31	
熊本県立農業大学校同窓会会長	同上	
先進農業者	同上	
熊本県立菊池農業高等学校校長	同上	
一般社団法人熊本県農業法人協会会長	同上	
熊本県農業協同組合中央会農政・営農支援センター所長	同上	
熊本県農林水産部生産経営局農地・担い手支援課長	同上	
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	熊本県立農業大学校
設置者名	熊本県

厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目については、熊本県農業大学校規則第 7 条に基づき、毎年度、大学校内での会議により、授業科目の設定、講義内容についての検討を行い、各授業を担当する教授、准教授との議論、調整を経て、教務課において原案を作成し、知事の承認を得て校長が定めている。</p> <p>授業計画は、大学校内の統一の様式を用いて、講義科目、授業形態、科目目標(指導・到達目標)、テーマ及び概要、使用教材、講義スケジュール及び成績評価に関する事項を全科目にわたり作成している。</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)は 1 月から 2 月にかけて担当教員が原案を作成し、校長が決定しており、3 月中旬以降に新年度のシラバスを冊子として取りまとめるとともに学生に配布し、大学ホームページに掲載する。</p> <p>大学校規則...農学部の授業科目並びに各授業科目ごとの履修単位及び履修時間数は、(第 7 条)知事の承認を得て校長が定める。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>熊本県ホームページ中の熊本県立農業大学校のページに掲載 (https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/84/)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>「卒業に必要な単位の認定等に関する規程」において、評定の内容について規定し、授業科目の試験(レポートを含む。)学習態度、出席状況等を総合して評価している。</p> <p>(評定)優(80 点以上) 良(65 点以上 80 点未満) 可(50 点以上 65 点未満) 不可(50 点未満)</p> <p>当該評価に基づき、進級判定会議での審議を経て単位認定している。</p> <p>学業における評定は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 原則として定期試験の成績によるものとするが、提出物や学習態度及び出席状況等も加味し、評価するものとする。</p> <p>(2) 経営実習の評定は、概ね次のとおりとする。</p> <p>ア 栽培・飼育、加工、機械、販売・コース別研修及び農家派遣研修の 5 つの項目に区分され、項目ごとに 100 点法で算出したのちに、規程で定める割合で算出し、5 つの項目の合計点を評定とする。</p> <p>イ 知識技術及び履修態度...相対評価とし、優れている者を 30 点、一般的な者を 20 点、劣っている者を 10 点程度として評価する。</p> <p>ウ 履修態度...イに準じて評価する。</p> <p>エ 出席状況...出席率により 20 点から 40 点までで評価する。</p> <p>(3) 卒業論文、海外農業研修等の評点及び評定...報告書等により評価する。</p> <p>(4) 資格取得等...資格試験に合格又は修了証受領をもって単位を加算する。</p>	

<p>3 . 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校ではG P Aの代わりに、授業科目ごとの成績評価を点数(100点満点)に換算した上で、取得した点数の平均を求める仕組みを導入している。</p> <p>当校ではその結果を企業奨学金の候補者選定や年度末の学業優秀者の表彰候補者選出などに活用する。</p> <p>成績評価方法については、シラバス等で学生や外部に公表している。</p> <p>(成績の分布状況の把握)</p> <p>総合平均による成績順位一覧表を作成し、下位4分の1を把握できる資料を作成している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>熊本県ホームページ中の熊本県立農業大学のページに掲載</p> <p>(https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/84/)</p>
<p>4 . 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>次代の本県農業を担う優れた農業経営者の養成を図るため、農業に関する高度な知識及び技術と農村社会人として必要な幅広い教養及び社会性を備えた人材を育成することが本校の教育方針である。</p> <p>この方針に基づき、卒業の認定については、「卒業に必要な単位の認定等に関する規程」において、単位の認定、進級及び卒業の認定等を規定しており、当該規程を大学ホームページに掲載する。</p> <p>(進級の要件)</p> <p>校長は、評定の結果、次のすべての要件を満たす学生の進級を認定するものとする。</p> <p>ア 経営実習の単位を修得していること。</p> <p>イ 修得単位の合計が38単位以上あること。</p> <p>ウ 習得単位のうち、体育を除く教養科目で5単位以上を習得していること。</p> <p>(卒業の要件)</p> <p>規則第7条に基づき校長が定めた授業科目等において、次の要件を満たすこと。</p> <p>ア 総修得単位数が86単位以上の者。</p> <p>イ 全ての必修科目を習得している者。</p> <p>ウ 総修得単位のうち、体育を除く教養科目で8単位以上を習得していること。</p> <p>(適切な実施)</p> <p>毎年2月に、大学校内で副校長以下全ての教員で卒業認定会議を開催し、卒業要件を満たしているか、卒業に相当するかを慎重に審議し卒業認定を行っている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>熊本県ホームページ中の熊本県立農業大学のページに掲載</p> <p>(https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/84/)</p>

様式第2号の4 - 【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4 - を用いること。

学校名	熊本県立農業大学校
設置者名	熊本県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

- 1 学科等の情報（農産園芸学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
農業分野		農業専門課程	農産園芸学科農特産コース			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,741 単位時間 / 単位	592 単位時間 / 単位		1,149 単位時間 / 単位	
			単位時間 / 単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人の内数		21人	0人	8人の内数	42人	50人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
農業分野		農業専門課程	農産園芸学科花きコース			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1,741 単位時間 / 単位	592 単位時間 / 単位		1,149 単位時間 / 単位	
			単位時間 / 単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人の内数		8人	0人	8人の内数	42人	50人

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業分野		農業専門課程	農産園芸学科果樹コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,741 単位時間 / 単位	592 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1,149 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人の内数		24人	0人	8人の内数	42人の内数	50人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各授業科目については、熊本県農業大学校規則第7条に基づき、毎年度、大学校内での会議により、授業科目の設定、講義内容についての検討を行い、各授業を担当する教授、准教授との議論、調整を経て、教務課において原案を作成し、知事の承認を得て校長が定めている。

授業計画は、大学校内の統一の様式を用いて、講義科目、授業形態、科目目標（指導・到達目標）、テーマ及び概要、使用教材、講義スケジュール及び成績評価に関する事項を全科目にわたり作成している。

翌年度の講義予定（授業計画）は1月から2月にかけて担当教員が原案を作成し、校長が決定しており、3月中旬以降に新年度のシラバスを冊子として取りまとめるとともに学生に配布し、大学校ホームページに掲載する。

成績評価の基準・方法

（概要）

本校ではGPAの代わりに、授業科目ごとの成績評価を点数（100点満点）に換算した上で、取得した点数の平均を求める仕組みを導入している。

当校ではその結果を企業奨学金の候補者選定や年度末の学業優秀者の表彰候補者選出などに活用する。

成績評価方法については、シラバス等で学生や外部に公表している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

「卒業に必要な単位の認定等に関する規程」において、単位の認定、進級及び卒業の認定について規定しており、当該規程を大学校ホームページに掲載する。

（進級の要件）

校長は、評定の結果、次のすべての要件を満たす学生の進級を認定するものとする。

- ア 経営実習の単位を修得していること。
- イ 修得単位の合計が38単位以上あること。
- ウ 習得単位のうち、体育を除く教養科目で5単位以上を習得していること。

（卒業の要件）

規則第7条に基づき校長が定めた授業科目等において、次の要件を満たすこと。

- ア 総修得単位数が86単位以上の者。
- イ 全ての必修科目を習得している者。

ウ 総修得単位のうち、体育を除く教養科目で8単位以上を習得していること。
学修支援等
(概要) 随時、担任教員、進路コーディネーターによる相談を受け付け、面談、進路指導を行うとともに、プロジェクト学習や卒業論文作成のため放課後のパソコン教室の使用を認め、教員も指導に当たるなど意欲ある学生の積極的な修学を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	0人 (0.0%)	17人 (85.0%)	3人 (15.0%)
(主な就職、業界等) 就農、宮崎ファーム、大同青果、熊本すぎがみ農場、峯樹木園、ナーセリーズ、世羅大豊農園、JR九州ファーム、			
(就職指導内容) エントリーシート添削、面接指導、SPI、作文試験指導、個人面談等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 大型特殊運転免許、けん引免許、危険物取扱者、フォークリフト、アーク溶接、産業用無人ヘリオペレータ、小規模ボイラー、農業技術検定、フラワー装飾技能士			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

- 2 学科等の情報(野菜学科)

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士					
農業分野	農業専門課程	野菜学科							
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼	1,741 単位時間/単位	592 単位時間 /単位		1,149 単位時間 /単位				
			単位時間/単位						

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人	61人	0人	7人	43人の内数	50人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各授業科目については、熊本県農業大学校規則第7条に基づき、毎年度、大学校内での会議により、授業科目の設定、講義内容についての検討を行い、各授業を担当する教授、准教授との議論、調整を経て、教務課において原案を作成し、知事の承認を得て校長が定めている。

授業計画は、大学校内の統一の様式を用いて、講義科目、授業形態、科目目標（指導・到達目標）、テーマ及び概要、使用教材、講義スケジュール及び成績評価に関する事項を全科目にわたり作成している。

翌年度の講義予定（授業計画）は1月から2月にかけて担当教員が原案を作成し、校長が決定しており、3月中旬以降に新年度のシラバスを冊子として取りまとめるとともに学生に配布し、大学校ホームページに掲載する。

成績評価の基準・方法

（概要）

本校ではGPAの代わりに、授業科目ごとの成績評価を点数（100点満点）に換算した上で、取得した点数の平均を求める仕組みを導入している。

当校ではその結果を企業奨学金の候補者選定や年度末の学業優秀者の表彰候補者選出などに活用する。

成績評価方法については、シラバス等で学生や外部に公表している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

「卒業に必要な単位の認定等に関する規程」において、単位の認定、進級及び卒業の認定について規定しており、当該規程を大学校ホームページに掲載する。

（進級の要件）

校長は、評定の結果、次のすべての要件を満たす学生の進級を認定するものとする。

ア 経営実習の単位を修得していること。

イ 修得単位の合計が38単位以上あること。

ウ 習得単位のうち、体育を除く教養科目で5単位以上を習得していること。

（卒業の要件）

規則第7条に基づき校長が定めた授業科目等において、次の要件を満たすこと。

ア 総修得単位数が86単位以上の者。

イ 全ての必修科目を習得している者。

ウ 総修得単位のうち、体育を除く教養科目で8単位以上を習得していること。

学修支援等

（概要）

随時、担任教員、進路コーディネーターによる相談を受け付け、面談、進路指導を行うとともに、プロジェクト学習や卒業論文作成のため放課後のパソコン教室の使用を認め、教員も指導に当たるなど意欲ある学生の積極的な修学を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 （100%）	1人 （3.6%）	26人 （92.8%）	1人 （3.6%）
（主な就職、業界等） 就農、寺岡有機農園、ヤンマーアグリジャパン、西九州青果、ナチュラルワークス、みっちやん工房、フラワーオークションジャパン、マルシン、たかき、熊本有機農園、クマモトコレクション、コムセンス、JA 球磨			
（就職指導内容） エントリーシート添削、面接指導、SPI、作文試験指導、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 大型特殊運転免許、けん引免許、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、フォークリフト、アーク溶接、産業用無人ヘリオペレータ、小規模ボイラー、農業技術検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	1人	1.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 進路変更希望者には、本人の希望、適性について聴き取りと面談を行い、希望する進路、就職先について紹介、指導を行っている。		

- 3 学科等の情報（畜産学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業分野		農業専門課程	畜産学科酪農コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,741 単位時間 / 単位	592 単位時間 / 単位		1,149 単位時間 / 単位		
			単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人の内数		16人	0人	5人の内数	45人の内数	50人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業分野		農業専門課程	畜産学科肉用牛コース				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2年	昼	1,741 単位時間 / 単位	592 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	1,149 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			単位時間 / 単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人の内数	20人	0人	5人の内数	45人の内数	50人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

各授業科目については、熊本県農業大学校規則第7条に基づき、毎年度、大学校内での会議により、授業科目の設定、講義内容についての検討を行い、各授業を担当する教授、准教授との議論、調整を経て、教務課において原案を作成し、知事の承認を得て校長が定めている。

授業計画は、大学校内の統一の様式を用いて、講義科目、授業形態、科目目標（指導・到達目標）、テーマ及び概要、使用教材、講義スケジュール及び成績評価に関する事項を全科目にわたり作成している。

翌年度の講義予定（授業計画）は1月から2月にかけて担当教員が原案を作成し、校長が決定しており、3月中旬以降に新年度のシラバスを冊子として取りまとめるとともに学生に配布し、大学校ホームページに掲載する。

成績評価の基準・方法

（概要）

本校ではGPAの代わりに、授業科目ごとの成績評価を点数（100点満点）に換算した上で、取得した点数の平均を求める仕組みを導入している。

当校ではその結果を企業奨学金の候補者選定や年度末の学業優秀者の表彰候補者選出などに活用する。

成績評価方法については、シラバス等で学生や外部に公表している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

「卒業に必要な単位の認定等に関する規程」において、単位の認定、進級及び卒業の認定について規定しており、当該規程を大学校ホームページに掲載する。

（進級の要件）

校長は、評定の結果、次のすべての要件を満たす学生の進級を認定するものとする。

ア 経営実習の単位を修得していること。

イ 修得単位の合計が38単位以上あること。

ウ 習得単位のうち、体育を除く教養科目で5単位以上を習得していること。

（卒業の要件）

規則第7条に基づき校長が定めた授業科目等において、次の要件を満たすこと。

ア 総修得単位数が86単位以上の者。

イ 全ての必修科目を習得している者。

ウ 総修得単位のうち、体育を除く教養科目で8単位以上を習得していること。

学修支援等

（概要）

随時、担任教員、進路コーディネーターによる相談を受け付け、面談、進路指導を行うとともに、プロジェクト学習や卒業論文作成のため放課後のパソコン教室の使用を認め、教員も指導に当たるなど意欲ある学生の積極的な修学を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	0人 (0.0%)	24人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 就農、ヤンマーアグリジャパン、ナガシオ牧場、古田牧場、農業共済組合、赤星牧場、キャトルブリーディングセンター、山口牧場、那須牧場			
（就職指導内容） エントリーシート添削、面接指導、SPI、作文試験指導、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 大型特殊運転免許、けん引免許、家畜人工授精師、フォークリフト、アーク溶接、小型車両建機、小規模ボイラー、農業技術検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	4人	8.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 進路変更希望者には、本人の希望、適性について聴き取りと面談を行い、希望する進路、就職先について紹介、指導を行っている。		

学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
農産園芸 野菜 畜産	5,650円	118,800円	300,000円	その他は、海外農業研修積立金
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 熊本県ホームページ中の熊本県立農業高等学校のページ （ https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/84/ ）
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

<p>(評価委員会の構成) 後援会長、同窓会長、県内農業系高校校長、農業者、農業関係団体関係者 など</p> <p>(評価項目) ・学生の満足度 ・学生の知識技術の向上 ・進路の内定状況 ・教員の指導力向上 ・入学志願者応募状況 ・広報活動の取り組み</p> <p>(評価の活用) 評価結果を基に、当該年度の実績成果と残された課題を分析し、次年度の重点目標や評価項目に反映させ、学校運営の更なる改善に生かしていく。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
熊本県立農業大学校後援会	2021.7月～2022.3.31	保護者
熊本県立農業大学校同窓会	同上	卒業生
先進農業者	同上	農業者
熊本県立菊池農業高等学校	同上	県内農業系高校
一般社団法人熊本県農業法人協会	同上	農業者
熊本県農業教組中央会 農政・営農センター	同上	農業関係団体関係者
熊本県農林水産部生産経営局 農地・担い手支援課	同上	行政機関
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 熊本県ホームページ中の熊本県立農業大学校のページ (https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/84/)		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 熊本県ホームページ中の熊本県立農業大学校のページ (https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/84/)</p>

(別紙)

この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	熊本県立農業大学校
設置者名	熊本県

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者(家計急変による者を除く)		19 人	23 人	23 人
内 訳	第 区分	14 人	16 人	
	第 区分	- 人	- 人	
	第 区分	- 人	- 人	
家計急変による支援対象者(年間)				0 人
合計(年間)				23 人
(備考)				

本表において、第 区分、第 区分、第 区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0 人	0 人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	人	0 人	0 人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0 人	0 人
「警告」の区分に連続して該当	人	0 人	0 人
計	人	0 人	0 人
(備考)			

備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	人	前半期	0 人	後半期	0 人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
3月以上の停学	0 人
年間計	0 人

(備考)

備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0 人
訓告	0 人
年間計	0 人
(備考)	

備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	人	0 人	0 人
GPA等が下位4分の1	人	0 人	- 人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	人	0 人	- 人
計	人	0 人	- 人

(備考)

備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。